

さいじょう 文芸広場

俳句

横山 容子 選

風邪予防うがひ励行指示さるる 高橋トシ子
病癒へ励むりハビリ冬日射^{ふゆひでし} 尾崎康流
大寒や石蹴り帰る一年生 加藤泰江
朝日影雪の石鎚山染めにけり 高橋由美
初雪や子の声弾む日曜日 猪谷マツ子
寒林を抜けて行くなり我一人 松木康子
日の丸を掲げ初売賑はへり 高野臣子
一望の菜の花を吹く風ありぬ 渡部喜生

川柳

平尾 忠文 選

温もりに未練が残る冬の床 木原恵美子
後戻り孫と興じる絵双六^{すしろうく} 三好清信
老夫婦スロースローで助け合い 亀田幸子
夢多く昇る朝日に一人言 池田智恵子
一日を気の向くままに生かされて 高塚フミ子
電話より手紙がいいと友便り 加藤泰江
趣味の道勇氣もらって今日も生き 篠森恵美子
感謝する心にゆとり持ち歩く 中路清子

短歌

藤田 虎雄 選

里芋の皮を剥ぎつつ八十路過ぐ われのお節^{せち}を待つ孫、子居て 森田 薫
新しき服をまといて初日出 おろがみにけり 十七年の春 坂根祐子
軒下の蜘蛛^{くも} 寒風に耐えしがみつき生死不明で年を越えたり 三谷福美
マフラーして散歩に行けば出会う人 教えてほしいと その結び方 真鍋生朝子
記念日に一重の薔薇^{ひだえ}がとどけられ泣き虫の母また泣いている 菅 正子
ベル鳴らし 幼子^{おきなこ}二人前後ろ 保育所へ向かう育メン^{いく}パパと 伊賀和子
「何しましよ」「ココア」と告げし横顔がコーヒーじゃない乙女の微笑^{ほほえみ} 高橋容子
なでしこの咲く川原^{かわはら}をお座敷と呼びて遊びし声の懐かし 佐伯利枝

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
西条市役所 広報広聴課 広報係
Tel 0897-52-1204 (直通)

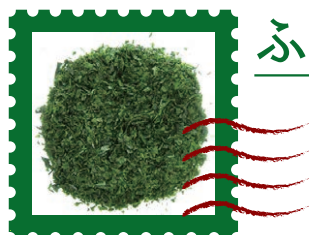
ふるさと産品通信

お茶のような上品な香り

青のり

問合せ

市庁舎新館2階 観光物産課
TEL0897-52-1380



4月になると海水温も少しずつ高くなり、西条の特産品の一つである「青のり」の収穫が始まります。

青のりは、同じ海藻類の「アオサ」と混同されることもありますが、より香り豊かな食材で、高級料亭などでもよく用いられます。青のりにも種類があり、四



万十川や吉野川などで収穫されるものは「スジアオノリ」、西条で収穫されるものは「ウスバアオノリ」という種類に属します。

青のりは、淡水と海水が混じりあう汽水域を好み、西条では中山川、加茂川、大明神川、新川の河口付近で天然の青のりが収穫されるほか、燧灘沿岸で養殖されています。

京都・大阪などの関西圏では、お彼岸の時期、あんこ・きなこ同様に、青のりのおはぎも人気があるそうです。ウスバアオノリなどの上質な青のりは、お茶のような上品な香りで、クセになる大人の味だとか。

青のりは歯に付きやすく、特に女性からは敬遠されることもあるかもしれませんが、カルシウムや鉄といったミネラル、βカロチン、ビタミン類などの栄養素を豊富に含む健康食材です。

瀬戸内の春の香りを運んでくれる「青のり」。これからのシーズンにおすすめの一品です。